

<実施概要>

1 趣 旨

人格を形成するうえで重要な時期にある中学生が、学校生活や家庭生活などを通じて、日頃考えていることや実践していることを発表することにより、中学生自身が社会性や自主性を培うとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を深める。

2 主 催

豊田市青少年健全育成推進協議会

3 後 援

豊田市・豊田市教育委員会・豊田市PTA連絡協議会・豊田市子ども会育成連絡協議会

4 募集対象

豊田市立中学校及び特別支援学校中学部在校生

5 意見文の内容

- (1) 社会や世界に向けての意見、将来への希望や提案など
- (2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会のさまざまなできごとに対する意見や感想、提言など

以上、3つの中のいずれかに該当し、心に思い、考えていることや感じていることなどを、中学生らしい自由でユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの

6 募集期間

令和2年4月9日（木）～令和2年5月29日（金）

7 応募の状況

豊田市立中学校合計25校から4,536点の応募があった。

8 審査日程

・書類審査

令和2年7月2日（木）午後2時～午後4時

福祉センター3階 34会議室

各中学校から推薦された25名の作品を審査し、優秀賞5名、優良賞5名、奨励賞15名を選考した。なお、例年行っている意見発表審査は新型コロナウイルスの影響により中止とした。

9 審査基準

書類審査（令和2年7月2日）

審査項目	観点・留意点	配点
1 論旨・内容	①選んだ主題からはずれていないか	30点
	②中学生らしく清新で建設的であるか	
	③自己体験の中からの自分なりの視点や考えがあるか	
	④矛盾や飛躍はないか	
	⑤理論・知識のみに片寄り過ぎず具体的な主張がされているか	
	⑥対策や実践への意欲が感じられるか	
	⑦中傷・批判になっていないか	
2 表現	①文法的な表現の誤りや誤字・脱字はないか	10点
	②主張・訴えたいこと等、強調点が工夫されているか	
3 発表性	意見発表できる話し言葉になっているか	10点

10 審査員（順不同、敬称略）

豊田市立中金小学校	校長	鈴木 康代（審査員長）
愛知県西三河県民事務所		中原 瑞樹
豊田市立寺部小学校	拠点校指導員	阿知波 淳
豊田市教育委員会学校教育課	指導主事	水野 美和
豊田市青少年健全育成推進協議会	会長	野上 孝之

1.1 審査結果

(1) 大会審査結果 ※学校名の五十音順

審査結果	中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
優秀賞	足助中学校	3	三木 千尋	「聞こえる世界と聞こえない世界」
優秀賞	井郷中学校	3	佐藤 僚真	ありのままの自分を認めて
優秀賞	未野原中学校	3	戸塚 優羽	目には見えないもの
優秀賞	高岡中学校	3	玉置 梨奈	小さな体と大きな力
優秀賞	松平中学校	3	高尾 羽久斗	「当たり前」の「有り難い」生活の中で
優良賞	小原中学校	3	鈴木 心琴	祖父から学んだこと
優良賞	高橋中学校	3	中道 美結	未来に向かって
優良賞	藤岡中学校	3	田口 延和	夢のバトン渡し
優良賞	藤岡南中学校	3	田中 莉緒	普通の基準
優良賞	竜神中学校	3	武藤 麗奈	自分をもつということ
奨励賞	逢妻中学校	3	梅木 陽咲	「明るい未来のために」
奨励賞	朝日丘中学校	3	近藤 朱俐	一人一人の存在
奨励賞	石野中学校	3	澤田 羽加	「自分の意見を言うこと」
奨励賞	稲武中学校	3	山田 溪太	「壁を乗り越えて」
奨励賞	梅坪台中学校	3	尾田 結愛	共存できる社会に
奨励賞	上郷中学校	3	里野 琴音	「SNS上でのデマ情報」
奨励賞	猿投中学校	3	堀原 望々香	当たり前の幸せ
奨励賞	猿投台中学校	3	永田 真唯	動物たちの「幸せ」とは
奨励賞	下山中学校	3	後藤 万弥	夢だけは見失ってはだめ
奨励賞	浄水中学校	3	谷村 和佳	リーダーの本当の意味
奨励賞	崇化館中学校	3	土田 祥寛	人とかかわりの中でこそ
奨励賞	保見中学校	3	荒川 涼風	「感謝の気持ちを広げたい」
奨励賞	益富中学校	3	林 美来	かけがえのない場所
奨励賞	美里中学校	3	月山 暁斗	ゴミ出しを通して
奨励賞	若園中学校	3	稲垣 日菜子	反抗期の私だから大切にしたい親子の距離

1.2 有志ボランティア（氏名50音順、敬称略）

前回主張発表者が、有志ボランティアとして、文集のイラストやキャッチコピー等の運営に参加。

加藤 百華・小寺 結依菜・鈴木 こまち・平松 真依 以上4名

13 参考

(1) 少年の主張愛知県大会

豊田市大会で優秀賞を受賞した5名の作品を、西三河地区ブロック審査会へ推薦した。その結果、豊田市から2名が少年の主張愛知県大会に出場した。なお、令和2年度の少年の主張愛知県大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での発表は中止となり、事前に動画撮影して、映像審査により実施された。

【映像審査】

日時 令和2年8月27日(木) 午後1時～午後4時

場所 愛知県三の丸庁舎(名古屋市中区三の丸二丁目6-1)

結果 最優秀賞(愛知県知事賞) 末野原中学校 3年 戸塚 優羽
奨励賞 松平中学校 3年 高尾 羽久斗

(2) 少年の主張全国大会

県大会で最優秀賞を受賞した戸塚さんは、中部・近畿ブロック代表として、少年の主張全国大会に出場した。なお、令和2年度の少年の主張全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催方法をweb開催に変更して実施された。

開催期間 令和2年10月29日(木)から11月30日(月)

※期間中、少年の主張全国大会webページに主張発表動画を掲載

※審査結果は11月8日(日)に掲載

結果 国立青少年教育振興機構理事長賞 末野原中学校 3年 戸塚 優羽